

うつくしま夢だより

News Of Fukushima 2005 / October No.200

平成17年
2005年

10月1日

NO.200 隔月発行

特集
県民だより創刊2000号
県庁探検 / 県広報誌の35年



うつくしま、ふくしま。
福島県



家族といっしょに。



研修生の工藤尚子さんと。

からむしと一緒に
スローライフで
暮らしていきたい。

表紙の人

昭和村
舟木 容子さん
(からむし織・織姫一期生)

舟木さんが昭和村を訪れたのは今から12年前。都会生まれの舟木さんにとって、当初は「もうカルチャーショックでおどろきの連続」。でも、和服が大好きで小学生の頃から自分で着物を着付けていたので、手織りへの想いは人一倍。織姫としての素地はしっかりできていたようです。翌年には村で知り合った靖さんと結婚、今では3人の子の母として根を下ろしました。子育てが一段落して、昨年からからむしの作業を再開。「今は畑でからむしの栽培から教わっています。十年後には帯を、その後の十年で着尺を織る計画」と舟木さん。豊かな時間の中で暮らしを紡いでいます。

もくじ

- 特集
県民だより創刊200号..... 3
- 「みんなの好奇心⑩」県庁探検!..... 3
- 県広報誌の35年..... 6
- 県民とのふれあいのためのスペース..... 8
- ニュース
県立大学が生まれ変わります!..... 9
- ちいさの広場
葛尾村/高郷村/西郷村/
大玉村/大熊町/湯川村/浪江町..... 10
- お知らせ
募集/催し/案内..... 12
- グループ紹介
NPO法人 ザ・ピープルの皆さん..... 16



県政広報ガイド

テレビ

ときめきうつくしま	FTV	毎週日曜日 9:45~10:00 (再放送 翌週日曜日6:45~7:00)
10月9日放送の番組より		
来年4月から始まる「双葉地区教育構想」の各方面との連携の様子を紹介		
おしえて!うつくしま	FCT	毎週日曜日11:00~11:15 (再放送 翌週日曜日6:00~6:15)
10月23日放送の番組より		
10月8~9日に開催された「うつくしまのつくりの祭典inあいつ」の様子を紹介		
トピックスうつくしま	KFB	毎週土曜日12:55~13:00
ウィークリーうつくしま	TUF	毎週日曜日11:40~11:45

ラジオ

知事さんふれあいトーク	rfc	毎月最終火曜日12:30~12:45
ふくしまEVENING BREAK	ふくしまFM	月~金曜日17:30~17:35

新聞

目で見る県政	福島民報	10月9日、11月13日
県民のページ	福島民友	10月9日、11月13日
県政だより	いわき民報	11月12日
県からのお知らせ	民報・民友	10月9・23日、11月13・27日

情報誌

グラフうつくしま	秋号	10月1日
----------	----	-------

県の主要計画や県内の観光地などをホームページでご覧ください。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/>

福島県の広報誌は、創刊200号を迎えました！

200

1970.8 - 2005.10



みんなの
好奇心

⑮

県庁

探検！

200号発行記念

「夢だより」こと「ふくしま県民だより」が創刊されたのは昭和45年8月。

以来、県民の皆さんとともに考え、ともに作る県広報誌として

歩みを続けて35年、本号で200号を迎えました。

その記念特集として、「みんなの好奇心」で県庁をとりあげることになりました。

県庁の内側がどうなっているのか、どんな役割を果たしているのか、探検してみましょう。

この特集を見れば、あなたも“県庁通”になれること請け合いです。

合わせて、広報誌の歩みや広報広聴の役割についても簡単にご紹介します。

いつもとはちょっと違う夢だより。存分に楽しんでいただければと思います。

はりゅう
田島町立針生小学校5年生の皆さんの好奇心です

本庁舎正面玄関に
全員集合！



県庁マメ知識 ①

福島県が誕生して130年

現在の福島県は、廃藩置県で生まれた福島・若松・磐前の3県が明治9年(1876年)に合併して誕生しました。誕生日は前号で紹介した「県民の日」の8月21日で、来年で130歳になります。初めて県庁舎が建てられたのは明治13年(1880年)。次いで明治40年(1907年)に再び新築されています。現在の県庁舎は、本庁舎が昭和29年、西庁舎が昭和46年にそれぞれ建てられました。



1880年新築の県庁舎。
当時の県人口は82万3120人。



現在の県庁舎。
現在の県人口は209万5900人。



議場
県の仕事や予算を審議して決定するところ。

県庁見学は議場からスタート。

ここは県民が選挙で選んだ県議会議員が、県のいろいろなことを審議したり決めたりするところ。58の議員席と議長席や執行部席、両脇に報道席、222の傍聴席があります。



発言する議員の持ち時間は決まっています、残りの時間がパネルに表示されます。みんなの中にも将来この議場に座る人が出てくるかもしれませんね。



みんなの
好奇心

もっと知りたい、見てみたい!
県庁のいろいろ。
さあ、みんなもいっしょに県庁を
誌上探検してみよう!



110番で通報するときは、

①いつ②どこで③何があったかを、
落ち着いて話してね。



通信指令室
見学中、ひっきりなしに
110番通報が。

建物は古いけれど県庁には最新の通信システムがあります。ここ警察本部にある通信指令室もそのひとつ。県内の110番通報はすべてここで受信され、現場に最も近いパトカーにすぐに連絡できる仕組みになっています。大型画面には現場の詳しい地図が表示されるので、指示は的確で迅速です。いづどんな形で起きるか分からない事件や事故。そのため指令室は365日24時間体制で対応しています。

昼食は西庁舎の
食堂で。
好きなメニューを
選んでね。



食堂

こうした情報はインターネットや携帯電話でも見ることができ、家や学校で調べてみましょう。



ここ数年、1時間に降る雨の量が
50~70mmという大雨や
カミナリが増えているんだって。

<http://www.pref.fukushima.jp/kasen/>

河川流域総合情報システム
雨量や水位をつねに観測
して、情報を全县に提供。

県内各地で自動計測している雨量、ダムのデータ、河川の水位データなどは、すべてこのシステムに送られてきます。送られてきたデータは集計処理や図形処理された上で、県内の市町村や建設事務所に転送され、全県の河川の様子がわかる仕組みになっています。



ついでに福島市を360度ウオッチング



屋上には衛星系と地上系の巨大なアンテナが!



無線統制室
防災のために衛星通信と地上回線をフル活用。

この部屋は、地震や台風などの情報を正確にスピーディーに伝達するための無線基地。気象台との情報のやりとりや県内の市町村、関係機関を専用の通信回線で結んで防災に役立てています。音声や映像も送れるし、ヘリコプター無線や道路パトロールカーともふうの電話で話してみたいに話ができます。わたしたちの暮らして地域の安全は、こんなシステムで守られているんですね。



みんなの住んでいる田島町は、どんなまちづくり計画をしているんだろう。田島町の都市計画図面を見せてもらいましょう。

下水道のマンホールって市町村ごとにデザインが違っていて知ってた?



都市領域
県庁で働いている人たちの職場を見学。

ここは都市領域の部屋。たくさんの方が机に向かつて仕事をしています。都市計画・まちづくり推進・都市整備・下水道・空港管理という5つのグループで構成されています。



県庁マメ知識 2

県庁があるのはお城の跡地

県庁が建っている場所には、かつて福島城(杉目城、大仏城とも呼ばれました)がありました。本庁舎の東側にある紅葉山公園や西庁舎裏の土塁の一部にその名残を見ることができます。平成14年(2002年)に、福島城が存在したことを後々まで伝えようと、県庁入口には記念碑が建てられました。福島城を初めて名乗ったのは、文禄元年(1592年)に城主となった木村吉清(蒲生氏郷の家臣)です。「福島」という名前の由来はよくわかりません。福島市周



辺は昔は見渡す限りの湖で、その中心にあった信夫山を「浮く島」に見立てたとか、信夫山に吾妻おろしが吹きつけたので「吹く島」と呼んだとか様々な説があります。

県庁探検、みんなの感想は?

- 知事公館を見たり、特別室の椅子に座ったりして自分が偉くなった感じがした。
- 雨量や川の水位がわかるので安心できる。
- インターネットで川やダムのことを調べてみたい。
- 110番通報を警察の人が受けているところを初めて見てすごいと思った。

知事公館
天皇陛下が休憩された特別室もじっくり見学。

いったん庁舎から出て、庭を通り抜けたところに建っているのが知事公館。静かできれいな建物です。大中小の会議室のほかに和室や特別のお客様をお迎えする部屋もあります。特別室では天皇・皇后両陛下がお座りになった立派な椅子に、ちょっとしただけ座らせてもらいました。



大会議室でジュースが配られてひと休み。見学コースもいよいよ終盤。あとは紅葉山公園を通りぬけて、ゴールをめざしましょう。



ゴール

本庁舎正面玄関からスタートして紅葉山公園まで10カ所を探検しました!



緑を抜けるといよいよゴールです!

これは河野広中(自由民権運動の指導者)の碑。衆議院議長にもなった政治家だよ。

住宅、公園、街路など
住みよい町づくりを
めざして
さまざまな施策が
推進されました。



1975
昭和50年



第18号

1971
昭和46年



第4号

1970
昭和45年



第1号



新幹線や
高速自動車道によって
もたらされる
豊かな生活が
思い描かれています。

ふくしま県民だより第1号が発行されたのは昭和45年。本号で創刊200号を迎えるにあたり、
県民の皆さんと自治体の架け橋としての役割を担ってきた
広報誌35年間の歩みを振り返ってみましょう。

愛されて200号 県広報誌の35年



(昭和50年6月1日発行)

当時ブームとなっていたテレビエンターテインングを楽しむ
若者の姿が紹介されています。



(昭和46年12月10日発行)

表紙は、空襲したばかりの県庁西庁舎。
当時は東北の高さを誇っていました。



(昭和45年8月1日発行)

第1号の表紙は、偶然にも本県がサッカーと
深く関わっていくことを予感させるものでした。

この号から、
年6回の発行となり、
紙面もコーナーが
確立されて、
現在のスタイルに
近くなっています。
自然保護や不況対策、
住環境整備などが
取り上げられていて、
今も抱えている課題が
すでに表れていたことが
わかります。

紙面はカラー化され、
ページ数も8ページに
増えています。
不定期であった発行も、
翌年から年4回となりました。
記事では、
東北新幹線路線決定や
只見線開通などの
明るい話題のほか、ドルショック
(金ドル交換停止)対策
としての緊急融資制度などが
掲載されています。

第1号はタブロイド判
4ページで発行。
表紙は、
福島市立第一中学校
サッカー部の皆さんです。
当時大きな社会問題と
なっていた公害や
交通事故に対する
取り組みのほか、
15年後の福島を
予想した長期展望が
掲載されています。

県では、この2つの機能をお互いに連携
させながら、これからも県民の皆さんと
の架け橋となるような広報を目指します。

**「広聴」…ご意見やご要望など県民の皆さん
の声を広くお聴きして、施策の立案や事
業の実施に生かしていく。**

**「広報」…県の施策や事業など行政情報を
わかりやすく提供し、県民の皆さんの理解
を得、参加してもらう。**

行政PR活動としての広い意味での広
報は、広報と広聴に分けることができます。
それぞれ次のような役割を担っており、
しばしば車の両輪に例えられます。

「広報」という用語は、戦後、「パブリック
リレーションズ(P.R.)」という言葉がアメリ
カから導入された際にその訳語として
誕生しました。そして、行政とP.R.活動と
は切っても切れない関係にあります。
その理由は、日本国憲法の基本原則で
ある「国民主権」にあります。政府・行政
は、主権者(統治者)である国民に対して
政府が何を行っているのか、どのような行
政サービスが受けられるのかを知らせる
とともに、国民の期待や要求を正しく
知り、行政活動に反映していくことが求
められます。このことは、県や市町村とい
った地方自治体にもあてはまります。

改めて
広報の役割を
振り返る

200
1970.8-2005.10



100号を迎えた
広報誌に、県内から
意見や感想が
寄せられました。



平成5年4月、
会津大学開学。
わが国初のコンピュータ理工学部に
272人の一期生が入学しました。

2003
平成15年



第186号

1993
平成5年



第126号

1989
平成元年



第100号

1980
昭和55年



第48号



(平成15年6月1日発行)

これまでのイメージを変える表紙となり、
多くの皆さんから大変な反響がありました。



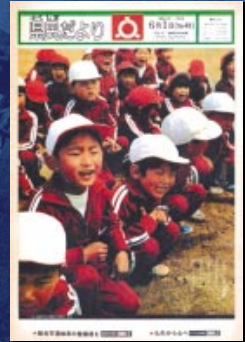
(平成5年6月1日発行)

本県初の単独開催となる国体を盛り上げるため、
平成7年12月まで競技に励む選手たちが表紙に。



(平成元年2月1日発行)

小学校の英会話クラブの様子。
表紙に初めて外国人の人が登場しました。



(昭和55年6月1日発行)

表紙は、県内各地の元気に遊び学ぶ子どもたちの姿を
紹介するシリーズに。

表紙のデザインも
誌面構成もガラリと変わり、
ページ数も倍の16ページに
ボリュームアップ。
このリニューアルを機に、
県民の皆さんから
愛称を募集して、
広報誌のネーミングを
「うつくしま夢だより」と
しました。

これまでのタブロイド判から、
コンパクトなA4判に。
さらに、全ページが
カラーとなって、
見やすく読みやすい
誌面になりました。
開学間もない会津大学や
この2年後に開催を
控えていた
ふくしま国体の話題などが
紹介されています。

平成になって、
最初の発行が記念すべき
第100号になりました。
当時建設が進められていた
福島空港や
磐越自動車道などの
話題のほか
県民の皆さんから寄せられた
100号を迎えての
ご意見・ご感想が
掲載されています。

新しい紙面構成となり、
表紙は全面を写真で構成。
県の施設などを
読者の主婦が訪問し、
感想や意見を寄せる
「ママさんレポーター」、
毎回テーマを決めて
県民の皆さんのご意見を
募集・掲載する「県政の視点」、
地域づくりで活躍する
グループを紹介する
「私たちのまちづくり」などの
コーナーが開設されています。

●夢だよりを通じて思うことは、福島県全体の動きがよくわかるということです。いわきに住んでいると、他の地方の動きは、自ら意識し、能動的にならないとなかなか情報が入ってきません。夢だよりを読むと、県政の目指すもの、将来のビジョンがよくわかります。これからも大切に読みたいと思っています。

●その他多くのお便りが寄せられました。ありがとうございました。

いわき市
高木佳子さん(30代)

●夢だよりは、私の時をいやしてくれず。福島県民としていろいろな情報を知ることができ、とても助かります。何度も拝読しては一日日を大切に過ごしております。他県の方にも夢だよりをもっと知ってもらいたいですね。より良い誌面づくりを願います。スタッフの方々も体に気をつけてがんばってください。



いわき市
猪狩正人さん(40代)

●いつも興味ある誌面、ありがとうございます。福島県を誇りに思える広報誌づくりをしているスタッフの皆さんの苦労が目に見えます。これからも知りたい情報、そして知らなければならぬ情報を、限りある誌面で伝えてください。健康にはくれぐれも気をつけてください。



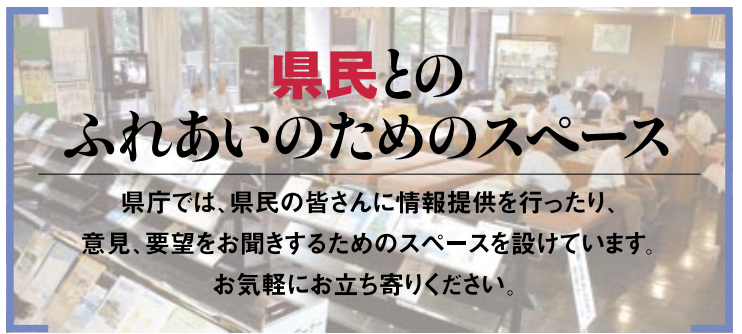
田村市
柳沼邦子さん(60代)

●今回が200号だそうでおめでとございます。地域密着の旬な話題を楽しみにしています。身近な話題が多く、いつも新たな発見があります。



会津若松市
鴨井喜子さん(50代)

200号発刊に
寄せられた県民の皆さんの声



県民との ふれあいのためのスペース

県庁では、県民の皆さんに情報提供を行ったり、意見、要望をお聞きするためのスペースを設けています。お気軽にお立ち寄りください。

県民ホール

西庁舎2階

● オープンスペースになっています。

ここは、県庁に来た人の休憩所であり、広報の場でもあります。県庁総合案内のほか、県内各地の観光パンフレットを並べ、ポスターを貼ったり県産品を展示するなどしています。

問県庁県政広聴グループ

☎024(521)7013

県政情報センター

西庁舎1階

ここでは、県が作成した行政資料の閲覧や貸し出しを

行っています。情報公開や個人情報保護についての案内も行っています。

問県庁文書法規グループ

☎024(521)7053

県政相談室

本庁舎2階

県政に関する(意見)要望・苦情などを始め、生活上の悩みごと全般についての相談を受け付けています。交通事故の加害者や被害者のための損害賠償や示談などの相談も受け付けています。

問県庁県政広聴グループ

☎024(521)7016



福島県知事
佐藤 栄佐久

県民主役の 広報誌を目指して

伝えしてきました。

県民だよりが産声を上げてから今号で200号を迎えました。この間、時代の移り変わりに対応しながら、県政の主要施策や話題、各地域の情報を県民の皆さんにわかりやすくタイムリーにお

現在、わが国では、さまざまな社会システムの再構築が行われていますが、県では、国↓県↓市町村↓住民という従来の流れを逆転し、住民主役の真の地方分権社会

の実現を目指した取り組みを進めています。

県内全戸に配布され、皆さんと県とをつなぐ最も身近なパイプ役である夢だよりも、県民主役の新しい社会にふさわしい広報誌を目指して、これまで以上に愛され、親しまれ、役立つ誌面づくりに努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

野菜編

「ヤーコン」



いいもの
発見
うつくしま



ヤーコンは、見るとサツマイモのようです。南米アンデス高原を原産とし、アンデスポテトとも呼ばれています。日本には20年前に入ってきました。

驚くべきは、野菜類では最高値の「フラクトオリゴ糖」と、赤ワイン並みの「ポリフェノール」が含まれていることです。整腸作用や抗酸化作用など、その健康機能性が注目されています。

味は、適度な甘みがあり、梨のようなサクサクとした食感があります。5〜10分



【出荷時期】11月〜3月

問県庁園芸振興グループ

☎024(521)7355



**県では平成18年度から、
県立医科大学と会津大学、会津大学短期大学部を法人化します。**

法人化って？

法人とは公立大学法人のことです。現在の県立大学は県の組織の一つですが、法人化後は、県の組織から独立した法人が大学の運営を行います。

なぜ法人化するの？

人材育成の拠点であり、新たな知識や技術の発信源でもある大学。地域や経済の活性化に向け、大学はその役割を十分に果たす必要があります。一方で、少子化により大学同士の競争が激化。大学自体の個性や魅力を高めなければ生き残れない時代です。

こうした課題に対応するには、自主的・自律的で機動性のある大学運営が求められますが、県の組織だとどうしても予算や組織体制などに一定の制約があります。法人化によつて、そうした制約を緩和することができま

法人化で新たに始まることは…

県は県議会の議決を得て法人の中期目標を作成・公表します。大学の目指すべき姿をまとめたもので、大学院進学率や就職率など具体的な数字も含まれます。また、目標を立てたからには、実践し評価を受けることが大切。公立大学法人評価委員会が、毎年評価を行い、その結果も公表されます。

県立医科大学は、県民生活の安全・安心の一層の向上を図るため、高度な教育・研究の展開を通して、医師や看護師などの人材育成や、質の高い医療の提供を力強く進めます。会津大学では、先進的な研究や開発に努め、その成果を地域社会や産業界に積極的に還元し、これまで以上に県の経済活性化・教育の向上などに貢献していきます。会津大学短期大学部も、その専門分野を生かして職業人の育成と地域に根ざしたさまざまな活動に取り組めます。新しく生まれ変わる県立大学にどうぞご期待ください。



☎ 県庁県立大学法人化グループ ☎ 024(521)7092 🌐 <http://www.pref.fukushima.jp/bunsho/university/>
(各大学の情報もここから見るができます)

ちいきの広場

福島県内の各市町村との交流ページです。
毎号、各地のトピックスやイベント案内などを紹介していきます。



葛尾村



高原の 秋の一日をどうぞ

「2005年から自然の恵み感謝祭」が11月3日(木)に葛尾村みどりの里で開催されます。阿武隈高原かつらおの新そばをはじめ、地域の特産品や野菜の直売、大鍋キノコ汁の無料サービスなど、お年寄りから子供まで楽しめるメニューがめじろ押しです。どうぞ高原の秋の二日を葛尾村でお過ごしください。

問 葛尾村役場

☎0240(29)2111



高郷村



「い〜夢博物館」 会員募集中

「い〜夢博物館」にあるの？何のこと？答えは「高郷村」です。

村においてなれば、化石発掘、そば打ち、パークゴルフ、ボート、炭焼きなど、自然や文化を生かした、高郷でしかできないいろいろな体験ができます。詳しくはホームページをご覧ください。

HP <http://www.vill.takasato.fukushima.jp>

問 そでやま夢交流館(ふれあいランド高郷)

☎0241(44)2780



大玉村



畜産の里 おおたまフェア開催

10月23日(日)、畜産の里おおたまフェアが、大玉村ふれあい広場で開催されます。畜産への理解と畜産物の消費拡大を目的とした毎年恒例行事。村内産の高級黒毛和牛肉のバーベキューや畜産物の大特売、その他楽しいイベントをたくさん用意してお持ちします。ご家族お揃いで、ぜひおいでください。

問 大玉村畜産団体連絡協議会

☎0243(48)3131



大熊町



豪快に鮭をつかむ！ 鮭を食べる！

10月30日(日)に開催する「熊川の鮭まつり」は、太平洋から熊川に遡上する鮭を捕獲する、豪快な地引網漁を見学できるイベントです。さらに、鮭の大特売会、鮭汁の無料試食、鮭のつかみ取り大会など、内容も盛りだくさんです。ぜひ、足を運んで、大熊の秋の味覚を満喫してください。

問 熊川漁業協同組合

☎0240(32)5484



大堀相馬焼「登り窯まつり」

わが浪江町の「大堀相馬焼」は三百有余年の歴史があり、伝統的工芸品の指定を受け、地場産業としてその伝統を守り続けています。「陶芸の杜おおぼり」に併設された「登り窯」においては、いまなお昔ながらの技術、技法が伝承されています。11月12日(土)、13日(日)には恒例となった「登り窯まつり」が開催されます。土と炎がつくり出す芸術の逸品を展示してお待ちしております。



浪江町 山田 茂夫さん

わがまち自慢

広聴 コーナー

福島県循環型社会 形成推進計画(仮称)に 関する 意見募集について



[1] 募集の目的

県では、人が活動するにあたって、環境の保全を最優先し、環境への影響を未然に防止するという考え方の下、持続可能な循環型社会を形成していくため、「福島県循環型社会形成推進計画(仮称)」の策定に取り組んでいます。

県民の皆さんから「もったいない50の実践(仮称)」も含めて幅広くご意見をいただき、本計画に反映させたいと考えていますので、多数のご意見をお寄せください。

[2] 募集期間

10月12日(水)から11月11日(金)まで

[3] 計画素案の公表方法

県庁県政情報センター(西庁舎1階)、県庁循環型社会推進グループ(西庁舎8階)、県政情報コーナー(県北を除く各地方振興局)で閲覧できるほか、県ホームページでもご覧になれます。

HP <http://www.pref.fukushima.jp/jyunkan/>

[4] 意見の提出方法

○住所、氏名、電話番号を記入の上、郵送、ファクスまたは電子メールで提出してください。

○匿名のもの、電話によるものは受け付けできません。

[5] 意見の提出・問い合わせ先

〒960-8670(住所記載不要) 県庁循環型社会推進グループ

☎024(521)7813

ファクス 024(521)7928

✉ jyunkan@pref.fukushima.jp

[6] その他

お寄せいただいた意見およびそれに対する県の考え方については、後日とりまとめの上、ホームページなどで公表します。

なお、意見提出者の個人名または名称を公表する場合は、あらかじめ個別にご了解をいただいた上で行います。



西郷村

標高800mでの 高地トレーニング

今年8月、西郷村甲子地区にクロスカントリーコース「甲子高原きびたきの森トレーニングコース」が完成しました。同地区は、標高が800mの高地で甲子・新甲子温泉もあります。この条件を生かし、高地トレーニングを行う合宿生などを受け入れます。疲れた体は温泉でリフレッシュできます。

問 西郷村商工観光課

☎0248(25)2910



湯川村

特産品販売所オープン

6月にオープンした「湯川村特産品販売所」では、新鮮野菜やコス、花、そば粉、ジャムなどの地元産の農産物や加工品、EM石鹸、漆器などを販売しています。場所は湯川村浜崎地内国道121号沿いの県内初のラーメンテ「マパーク」会津湯川ラーメン千本岩内です。どうぞお立ち寄りください。

問 湯川村産業課

☎0241(27)8840

とっておきのスポットや自慢の物産など
身近な「わがまち」情報をお寄せください。

「わがまち自慢」コーナーでは、皆さんからいただいた情報により、地域的话题を発信していきます。ハガキ、メール、ファクスでお知らせください。

〒960-8670 県庁県政広報グループ「わがまち自慢」係

✉ kouhou@pref.fukushima.jp (ファクス) 024(521)7901

お知らせ

コーナー

●募集

県立高等技術専門学校学生 (一般入学試験)

県立高等技術専門学校では平成18年度の学生を募集します。

▼募集学科および定員

●郡山高等技術専門学校
機械制御システム科、電気制御システム科、情報制御システム科、自動車整備科、建築デザイン科。各科定員20人。

●会津高等技術専門学校

電気システム科、自動車実務科、環境システム科、観光サービス科。各科定員20人。

●浜高等技術専門学校

電子制御科、自動車整備科、パレルシステム科、建築技術科。各科定員20人。

▼募集期間／11月1日(火)～15日(火)

▼試験日／11月30日(水)・12月1日(木)(郡山校のみ)

●募集

「うつくしま

機能的農産物セミナー」 料理コンクール作品

11月19日(土)に県男女共生センター(二本松市)で開催する「うつくしま機能的農産物セミナー」での料理コンクールのアイデア作品を募集しています。(セミナー当日は講演会や応募料理の試食、展示即売を実施。参加無料)



▼募集料理／本県特産のエゴマまたはヤーコンを使った30分以内でできるアイデア料理。(詳細はホームページ)

●募集

●募集

第3回あづまの郷 ウォーク大会参加者

11月3日(文化の日)に第3回あづまの郷ウォーク大会を開催します。

県営あづま運動公園を中心に7kmから20kmの5コースで行います。(雨天決行)。

▼参加料／事前申し込み

大人／五百円(当日七百元)
子供(小・中学生)／三百円(当日五百円)

▼申し込み方法／実施要項に

添付の申込みはがきによりお申し込みください。

▼申し込み期限／10月31日(月)

当日消印有効

問 あづまの郷ウォーク大会実行委員会事務局

☎024(593)1111

●募集

HP <http://www.pref.fukushima.jp/syoko/roudou/ginou/>

▼入学検定料／二千二百円

▼合格発表／12月8日(木)

問 県庁技能振興グループ

☎024(521)7300

HP <http://www.pref.fukushima.jp/syoko/roudou/ginou/>

▼応募方法／申込用紙に完成写真を添付して、郵送または電子メールでお送りください。

▼応募期限／10月31日(月)

問 県庁園芸振興グループ

☎024(521)7355

HP <http://www.pref.fukushima.jp/yasai/>

メール engei@pref.fukushima.jp

提案

コーナー

ホームページへの 交通安全スローガン 掲載について

福島市 佐藤 篤也さん40代

全国的に交通事故が多発しています。そこで県のホームページのトップページなどに交通安全スローガンを入れてはどうでしょうか。県民への安全運転の啓発になると思います。

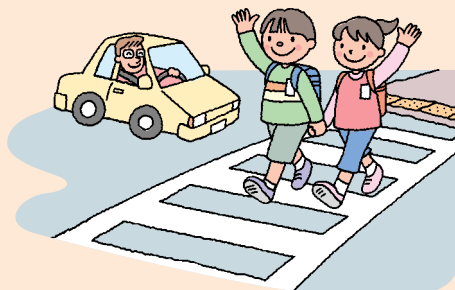
回答

県民の皆様と
一丸となって
交通安全の推進に
努めます

ホームページへのスローガン掲載のご提案を受けまして、「平成17年度交通安全年間スローガン」を生活環境部生活交通グループのホームページに掲載しました。

また、スローガンをクリックすると、全国的な交通安全対策情報をご覧いただけるよう「内閣府の交通安全対策」

のホームページにリンクを設定しました。
県警察本部のホームページには交通安全や事故状況、最新の道路交通法改正点などの交通情報を随時掲載しております。



この他、県のトップページにも、年四回の交通安全運動の期間を中心にスローガンを掲載し、タイムリーな広報に努めます。

問 県庁生活交通グループ
☎024(521)7158
HP <http://www.pref.fukushima.jp/koutu/top.htm>

問 県警察本部
☎024(522)2151
HP <http://www.police.fukushima.jp/koutu/>

●催し

うつくしま ものづくりの祭典「あいつり」

技能と伝統工芸、地場産品の三大フェアが会津に集結します。ふくしまの匠たちが集まるものづくりの祭典。ぜひご来場ください。

▼期日／10月8日(土)・9日(日)

▼場所／あいつり総合体育館およびあいつりドーム(会津若松市門田町)



●うつくしま、ふくしま。ものづくりフェスタ2005

青年技能者による技能競技大会や熟練技能者によるデモンストレーション、ものづくり体験コーナーなど、見て、触れて学び、楽しむことができます。

●**関係庁 技能振興グループ**

☎024(521)7300

●うつくしま工芸品フェア'05
〜美しい空間〜

伝統工芸品を使った7つの部屋でのインテリアコーディネートとテーブルコーディネート

が見られます。

●**関係庁 県産品振興グループ**

☎024(521)7828

●会津ブランドものづくりフェア
会津の物産や技が、堂に会します。地元の良いものや匠の技に出会えます。

●**関係庁 若松市商工課**

☎0242(39)1252

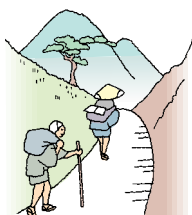
●催し

「峠を越える人々」展

現在、つづら折りの古い峠道は急速に姿を消しつつあります。

その一方で古道や峠を文化遺産として見直し、実際に歩く人も増えつつあり

ます。この展示では、峠が身近だった江戸時代から明治時代の資料を紹介します。



▼日時／10月7日(金)～11月23日(水)

休館日は月曜日(10月10日は開館)と10月11日(火)

▼場所／県歴史資料館

▼入場料／無料

●**関係庁 歴史資料館**

☎024(534)9193

うつくしま・宝発見フォトコンテスト

作品募集中!

うつつたくなる、うつくしま。



うつくしま・ふくしまの部

4つ切り(ワイド可)またはA4プリント応募に限る

●テーマ／自然、街並み、人など福島県のおもしろさを捉えた作品

○大賞1点(50万円) ○準大賞2点(10万円)

○入選15点(1万円) ○佳作50点

ふくしまの宝発見の部

電子データ(JPEG・2MB以内)、メール応募に限る

●テーマ／“私が見つけた”福島県のおもしろさを捉えた作品

○大賞1点(30万円) ○準大賞5点(5万円)

○入選30点(1万円) ○佳作50点

◎審査員特別賞

各部門の準大賞、入選から3人にデジカメFine Pix F10を進呈

●審査員／竹内敏信、織作峰子、田部井淳子

●締め切り／平成17年12月31日(土) (当日消印有効)

●その他／プロ・アマ、県内外問わず。平成16年1月以降に撮影した作品で、他のコンテストで入選したり、応募予定の無いものに限る。応募点数は問わない。白黒、カラー、デジタル可。合成、組写真は不可。画題、氏名、年齢、住所、電話番号(Eメール)、カメラ、レンズ、撮影場所、撮影年月日を応募票(任意またはホームページより)に記入し、作品裏面に添付。電子データは下記ホームページより応募。入賞作品は原版(データ)を提出(後日返還)。なお、応募作品は返却しない。入賞作品の著作権は県に帰属。

●お問い合わせ先 960-8670(住所記載不要) 関係庁 県政広報グループ内「うつくしま・宝発見フォトコンテスト」係

☎024(521)7014 [HP http://www.utsukushima.info/](http://www.utsukushima.info/)

○後援／富士写真フイルム FUJIFILM

●催し

食の安全に関する リスクコミュニケーション

食の安全について、さまざまな立場の皆さんとおたがいの理解を深めるため、「食の安全に関するリスクコミュニケーション」を開催します。



当日は、消費者や生産者、流通関係者、行政機関がそれぞれの取り組みを紹介するとともに、会場参加者との意見交換を行います。

この機会に、食の安全についての意見をお聞かせください。
▼日時／10月28日(金)午後1時より

▼場所／須賀川市文化センター(須賀川市牛袋町)

問県庁食品安全グループ
☎024(521)7245

●案内

国勢調査を 実施しています。

10月1日を基準日として国勢調査を実施しています。

この調査は日本国内の人口や世帯、就業者などについて現状を把握するもので、調査結果は将来の日本を築くための重要な資料として利用されます。国勢調査員が皆さまのお宅へ調査票の配布・受け取りに伺いますのでご協力をお願いします。

▼調査対象／日本に住んでいるすべての人

▼調査項目／氏名や出生の年月、就業時間、世帯の種類など17項目

問県庁国勢調査実施プロジェクトチーム
☎024(522)8171

8174

●案内

県域を越える自動車の 転出入時の自動車税の 取扱いが変わります

県域を越える自動車の転出入時の自動車税の取扱いが

変わります。

平成18年度分から、年度の途中に引越しや車の売買によって所有している自動車は「他県ナンバー」に変わっても、その年度における自動車税の月割計算による還付や新たな課税はなくなります。

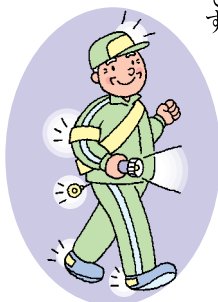
抹消登録時の還付や新規登録時の課税については、今までどおり月割計算されます。

問最寄りの県地方振興局県税部または県庁課税収税グループ
☎024(521)7070

●案内

高齢者の交通事故防止

11月30日(水)までは高齢者交通事故防止強化運動期間です。



日が短くなるこの時期、高齢者による自宅近くなどでの道路横断中の事故が多発する傾向にあります。

外出の際は明るい色の服装でお出かけください。

また、夜光反射材を付ける
と層効果的です。

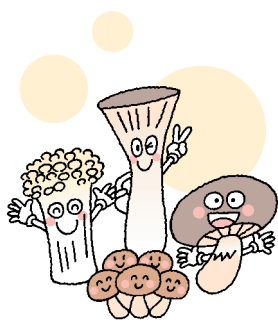
ドライバターの皆さん、ライトは早めに点灯し、安全運転をお願いします。

問県庁生活交通グループ
☎024(521)7158

●案内

県安心きこの栽培 マニュアル

県では、安全・安心なきこのを提供するため、「県安心きこの栽培マニュアル(生しいたけ)」を策定しました。



このマニュアルは、農薬を使わないきこの栽培法やその栽培履歴記載方法などをまとめたものです。

マニュアルの詳細についてはお問い合わせください。

問各農林事務所または県庁県産材特産グループ
☎024(521)7432

福島県文化センター

福島市春日町

10月15日(土)	日本古典文学講演会「義経とその時代、義経伝承」
10月28日(金)	富士通コンコードジャズフェスティバル2005*
10月30日(日)	オペラ「乙和の椿」公演*
11月 8日(火)	堀内孝雄コンサート*
11月16日(水)	Gacktコンサート*
11月22日(火)	ザ・ベスト・オブ 能・狂言2005*

☎024(534)9191 <http://www.culture-center.fks.ed.jp/>

*有料のイベントです。(他イベントは入場無料)●予定につき内容が変更される場合があります。また、このほかにもたくさんのイベントが開催されます。

コラッセふくしま

JR福島駅西口

10月 4日(火)～ 7日(金)	松川フラワーサークル押し花作品展
10月11日(火)～17日(月)	ふくしま食と文化の市
10月17日(月)～22日(土)	さをり織りの仲間たち～みんないっしょの芸術祭 in 福島～
11月11日(金)～17日(木)	ふくしまの文化と味と技
11月18日(金)～24日(木)	山都の新そばとふるさとの技
11月19日(土)	美味いもん相馬フェア

☎024(525)4020(ただし、土・日・祝日を除く) <http://www.corasse.jp/>

施設ガイド

福島県立美術館

福島市森合字西養山1
☎ 024(531)5511

「柳宗悦の民藝と巨匠たち展」

●10月23日(日)まで

柳宗悦らの「民藝(民衆の工藝)」運動によって、日常の工芸品や日本の造形物の中にある健全で揺るぎない美が広く認識されるようになりました。本展では、約160点の作品によりその運動の全貌を紹介しします。



「かまど面(東北)」

福島県立博物館

会津若松市城東町1-25
☎ 0242(28)6000

秋の企画展

「婚礼 ニッポンブライダル考」

●11月6日(日)まで

華やかな婚礼衣装や婚礼調度、披露宴の料理、祝いの歌や踊りなど、ニッポンの婚礼文化を紹介しします。



「白輪子地蔵落牡丹莢文様打掛」(東京国立博物館)

福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂字一里段86
☎ 0248(21)0700

まほろん秋のてんじ

「ふくしまの重要文化財Ⅳ—考古資料:古墳時代後期の金工品」

●12月4日(日)まで

県の重要文化財の中から、古墳時代後期(6・7世紀)の金工品を紹介しします。中田横穴(いわき市)や八幡横穴群(いわき市)、真野古墳群A地区20号墳(鹿島町)から出土した装飾品などを紹介しします。

ふくしま海洋科学館 アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰日町50
☎ 0246(73)2525

「キッズアクアリウム おもしろ魚展」 ●11月7日(月)まで

幼児から小学校低学年までの児童を対象に、海や海の生き物への関心を深めてもらうため、色彩や形態の変わった魚を展示し、生物の多様性や環境の適応について紹介しします。また、「キッズアクアリウム 海とあそぶ」も同時開催(平成18年5月22日まで)しています。

ビッグパレットふくしま

郡山市安積町日出山字北千保19-8
☎ 024(947)8010

会期	イベント名	問い合わせ先
10月 1日(土)～ 2日(日)	LPガスと総合くらし展2005	☎ 024(943)8585
10月 2日(日)	とぼっせ!たべっせ!どまんなかふくしま!!PR事業 県中地方いいもの再発見!フェスタ	☎ 024(935)1323
10月 8日(土)～10日(月)	ふくしまホビーフェア2005※	☎ 024(524)0871
10月15日(土)	ハートフルサタデー献血イベント	☎ 024(924)2120
10月22日(土)	こころのサミット授賞式&「地球のステージ」公演	☎ 024(932)2289
10月22日(土)～23日(日)	ふくしま軽CARフェスタ2005	☎ 024(546)2577
10月26日(水)	平成17年度新規高卒者求人企業合同説明会	☎ 024(942)8609
10月27日(木)	ドラゴンゲートプロレス福島大会※	☎ 078(333)9797

※有料のイベントです。(他イベントは入場無料)

●予定につき内容が変更される場合があります。また、このほかにもたくさんのイベントが開催されます。

10月・11月は地産地消月間

月間中、身近な県産品に親しむイベントが県内各地で開催されます。新鮮!安全!安心!な地元産を再発見する絶好の機会です。みなさんもいっしょに探してみませんか。



問 県庁企画調整部総務企画グループ

☎ 024(521)7108

HP http://www.pref.fukushima.jp/kikaku/tsts_index.htm

8月号の意見・感想から



●特集1「森へ行こう!」へ、「豊かな自然をいつまでも守っていきたい」「森林の働きは本当に素晴らしい」「子どもを連れて森林へ行ってきました」など、多くのご意見・ご感想をいただきました。

▶いつもとちょっと違う今回の「夢だより」いかがでしたでしょうか。200号を迎えられたのも県民の皆さんのおかげです。ありがとうございました。今後も、「ともに考え、ともに作る、夢だより」を基本に、皆さんにお届けしします。たくさんのご意見・ご感想、地域の情報をお寄せください。

8月号の正解 ◎ 8月21日

応募総数632件(正解628件)

当選者(順不同) 小泉 勝也さん(いわき市)
安斎 俊彦さん(福島市) 國岡 芳江さん(会津若松市)
舞木 和子さん(郡山市) 北原 淳子さん(福島市)
小畑 慶子さん(いわき市) 古川 洋子さん(郡山市)
鈴木 由美さん(いわき市) 高橋 康子さん(会津若松市)
長瀬 紋一郎さん(いわき市) 秋元 正江さん(田村市)
横山 恵子さん(会津高田町) 阿部 雄太郎さん(いわき市)
幕田 あやのさん(福島市) 渡辺 ウタ子さん(会津若松市)

グループ紹介
スクラム
ふくしま



海外支援プロジェクトとして訪れた
タイ国ナーン県の山岳民族の方たちと。



NPO法人 ザ・ピープル の皆さん

●連絡先/いわき市小名浜字本町11-1「まちづくりステーション小名浜」

☎FAX 0246(52)2511 <http://www.iwaki-j.com/people/>

ザ・ピープルは発足14年。主婦たちが集まって始めた身近なリサイクル活動が、現在は現役高校生も含め会員約300人の市民団体になりました。合言葉は「元気なまちは元気な主張を続け、元気に行動する市民がいる」。

活動の中心は、「ゴミの減量と再利用を目的とした古着のリサイクルです。市内20カ所のリサイクルボックスに集まる古着は月平均15トン。そのままバザーなどで売れるもの、再利用できるものなどに選別します。この作業はほぼ毎日行われ、取材の日も炎天下でスタッフが古着の山と格闘していました。

環境、福祉、まちづくりなど、ザ・ピープルは古着を媒介にいろいろな問題に取り組んでいます。海外支援もそのひとつ。毎年収益金をタイ国ナーン県山岳地方への支援事業に有効活用しています。「支援を待っていてくれる人たちがいるのは私たちの大きな喜び。その喜びを共有しあえる仲間がいることが活動のパワーになっています」と代表の吉田さん。10月29日(土)に開催されるいわき地球市民フェスティバルに向けてメンバー一同、目下準備に余念がありません。



奥会津の天然炭酸水
「awa心水」が当たる!

県が18年度から法人化するのは、
問題 県立〇〇大学と
会津大学、会津大学短期大学部。

〇〇の中に漢字を入れてください。(ヒントは9ページ)



表

9 6 0 8 6 7 0

県庁
県政広報グループ
「夢だより」クイズ係

裏

クイズの答え
県立〇〇大学
興味を持った記事

ご意見・ご感想

お名前 ご住所
電話番号 年齢 ご職業

●応募方法/ハガキまたは電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事と本誌についてのご意見・ご感想などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入しお送りください。正解者の中から抽選で15名様に奥会津金山町産の天然炭酸水「awa心水6本セット」を差し上げます。

●締め切り/平成17年10月31日(月) 当日消印有効

●当選発表/本誌次号(12月号)で発表します。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/kouhou/> eメール kouhou@pref.fukushima.jp

福島県

[編集・発行] 福島県県政広報グループ

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-7014

<県の人口>

(平成17年8月1日現在)

◎男……1,019,730人(前月比240人減)

◎女……1,076,170人(前月比164人減)

●合計…2,095,900人(前月比404人減)

[世帯数]719,171世帯(前月比350世帯増)